

No Music No Peace

名桜大学 観光産業専攻3年次  
平山 叶奈子

# アイデアの背景

## ▶ 沖縄の独特の文化

かちやーしー、エイサー…

## ▶ 沖縄の音楽を用いた観光

民謡が聴ける居酒屋、エイサーを見れる観光施設

沖縄の人は  
音楽を通じて  
人との一体感を  
大切にしている



三線の響き、独特の音程には気持ちを  
落ち着かせる安心感がある。  
音楽を通じて思いを人と共有できる。

この独特の音楽文化が  
平和に結びつくのでは??

# 今までとは“違う”音楽イベントを開催

- ▶ 沖縄の民謡や、  
沖縄のアーティストによるパフォーマンス



全国で活躍する沖縄出身者の  
アーティスト

- ▶ 沖縄の学生によるマーチング  
沖縄のマーチングは  
全国的にレベルが高い  
⇒地域活性化、  
アピールチャンス！



# 音楽イベントだけでなく・・・

## ▶ ワークショップの開催

楽器体験、合唱に飛び入り参加など・・・

聴くだけのイベントで終わらず、誰もが参加者になれる

→音楽を通じて

コミュニケーションを図り、  
人と交流できる。

⇒**人とのふれ合いが  
平和につながる！**



# さらに盛り上げるために

## ▶ ポスターやステッカーを作る

イベントの宣伝だけでなく、街中や店、車に貼る

⇒**地域全体で創る、という一体感**が生まれる。

## ▶ 参加料金の一部を途上国に寄付

ただ楽しむだけのイベントから、  
誰かのためにもなる貢献できる  
音楽イベントへ

⇒**今までの音楽フェスとは違う  
楽しみながら国際貢献**



<http://>

# 実現可能性

## ▶ 地域の人を中心になる

県内で有志を募った委員会が主催し、吹奏楽連盟や市町村の文化振興課などが後援

## ▶ 音楽を全身全霊で楽しむための工夫

沖縄の青い海と空を体感してもらうために野外で開催、ライブビューイングや中継をする暑さ対策でタオルや飲み物などの販売、随所にミストなど

## ▶ 外国人を巻き込む

米軍兵士とその家族や県内の留学生など沖縄独特の文化を味わえる

→ **異文化交流**

**音楽は国籍問わず楽しめることを実感できる**



# 将来性・継続性

## ▶ 誰もが楽しめる内容であること

- ・子どもからお年寄り、国籍問わず楽しめる

例（沖縄の曲だけでなく、子どもに人気のアニメソング、外国で有名な曲など）

⇒馴染みある曲なら盛り上がる

また参加したいと思える

## ▶ 沖縄観光に新たな一面が加わる

現在の状況・・・マリンスポーツ、水族館、買い物など  
リピーター→ビギナー

ツアーに組み込む

⇒ビギナーの観光客誘致につながる



# 将来性・継続性

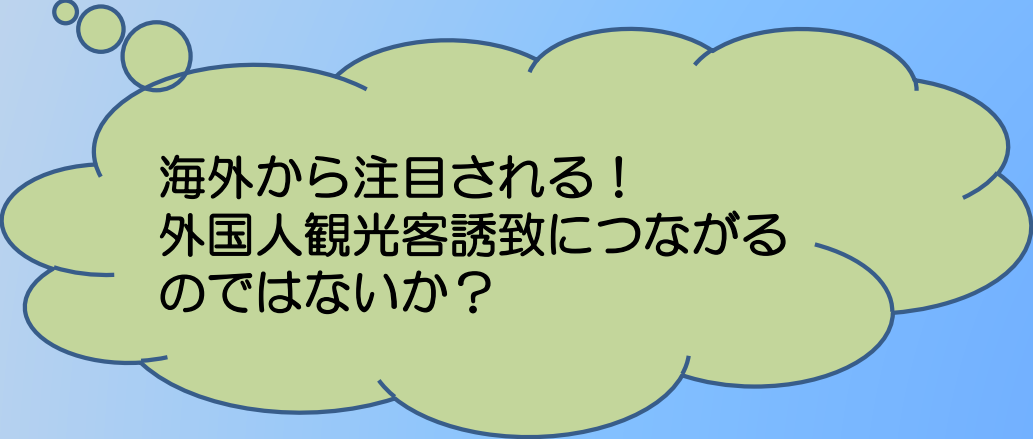
## ▶ 国際貢献できる充実感

- ・楽しむだけでなく、誰かのためになる

⇒今までとは違う充実感が得られる

- ・他国との繋がりを持つことができる

⇒沖縄の印象・認知度アップ



海外から注目される！  
外国人観光客誘致につながる  
のではないかと？

# 音楽は世界共通語

沖縄の空気を感じながら

音を感じ、人と楽しむ

音楽で「ゆいまーる」平和へ



# 参考文献

- ▶ ネット・自然と文化／沖縄の音楽

[www.pref.okinawa.jp/kodomo/bunka/d9\\_ongaku.html](http://www.pref.okinawa.jp/kodomo/bunka/d9_ongaku.html)